

食品中の放射性物質検査結果(令和6年度)

平成23年3月に東日本大震災による福島第一原子力発電所事故がおき、市民の健康影響への不安に応え市内流通食品の安全・安心を確保するため、同年7月から食品中の放射性物質検査を行っています。

令和6年度に当所で行った食品の検査結果は表1～表3のとおりです。423検体中3検体から放射性セシウム(Cs)が検出されましたが、基準値*は超えませんでした。

* 放射性 Cs の基準値(Cs-134 と Cs-137 の合計)

飲料水:10Bq/kg、乳児用食品:50Bq/kg、牛乳:50Bq/kg、一般食品:100Bq/kg

ミネラルウォーター類・原料に茶を含む清涼飲料水・飲用に供する茶:10Bq/kg

(厚生労働省告示第129号、130号 平成24年3月15日)

表1 検体の種類及び数並びに放射性Cs検出検体数

検体の種類	説明	検査検体数	放射性Cs検出検体数
市内産農産物	横浜市内産の農産物	9	2
市内産水産物	横浜市内漁港水揚げの魚介類	60	0
市内産畜産物	横浜市内産の原乳	4	0
市内量販店流通食品	横浜市内で流通している食品	11	0
小学校給食	米、麦及び牛乳	339	1
合 計		423	3

表2 検体の内訳

検体の種類	品名([]内は検体数)
市内産農産物	かき[1]、かぶ[1]、きゅうり[1]、こまつな[1]、しいたけ(生)[1]、たけのこ[1]、にんじん[1]、日本なし[1]、ばれいしょ[1]
市内産水産物	イボダイ[4]、カナガシラ[6]、クロダイ[2]、コショウダイ[2]、シログチ[13]、スズキ[14]、タチウオ[18]、ホウボウ[1]
市内産畜産物	原乳[4]
市内量販店流通食品	牛乳[3]、牛肉[2]、米(精米)[2]、ミルク(粉)[2]、レトルト食品(乳幼児用)[2]
小学校給食	牛乳[174]、米(精米)[107]、米(胚芽米)[23]、麦[35]

表3 放射性Cs検出検体の検査結果

	品名	検体数	検出値(Bq/kg)		
			Cs-134	Cs-137	Cs合計
市内産農産物	たけのこ	1	不検出(<0.700)	15.4	15
	しいたけ(生)	1	不検出(<0.763)	1.56	1.6
小学校給食	米(胚芽米)	1	不検出(<0.733)	0.614	0.61

不検出の()内数値は、検出限界値

【 理化学検査研究課 環境化学担当 】